



多様な人が活躍するまち育て

～名古屋・錦二丁目のエリアマネジメント～

2026.9.10

錦二丁目エリアマネジメント株式会社 代表取締役
NPO法人まちの縁側育くみ隊 代表理事 名畑恵

0. 錦二丁目地区 概要（1）地域100%出資のエリマネ会社

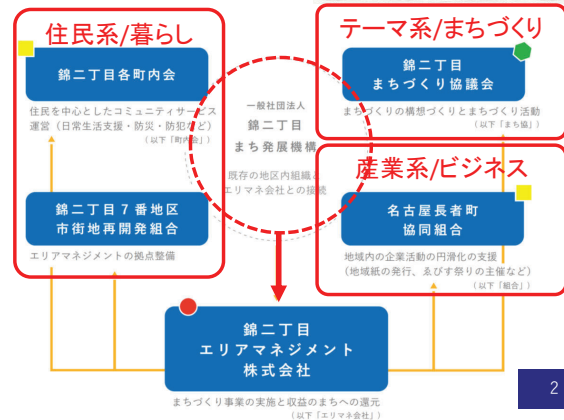
まちをもっと良くしたい！



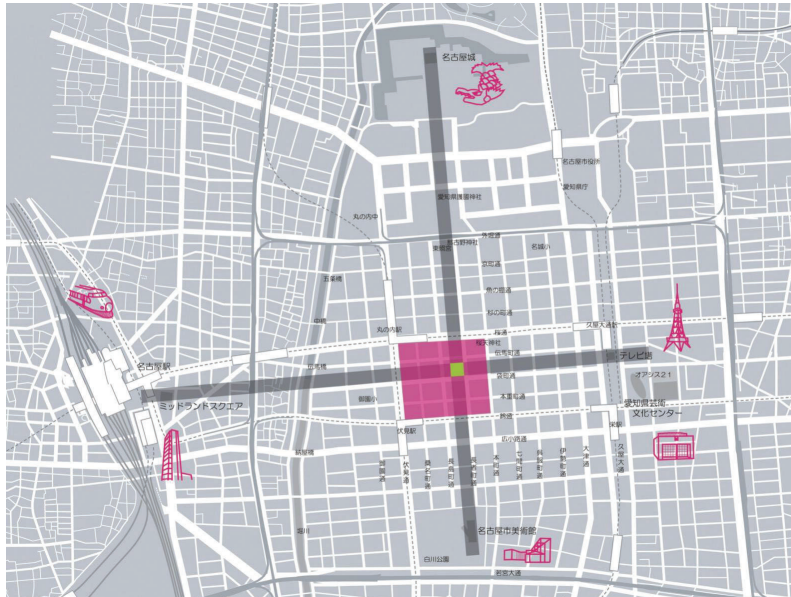
事業内容 ①まちづくり拠点「喫茶/スペース七番」運営
②まちのコミュニティ支援
③まちの多様な空間活用（公共空間・空きビル等）
④まちの仕事づくり／「N2/LAB」企画・運営 など



地域の人が自分たちで
地域を守りはぐくむ
仕組みとしての
エリアマネジメントです。



1. 錦二丁目地区 概要（1）立地と活動の関係



なごやグランドクロス
東西軸：名古屋駅-テレビ塔、
南北軸：名古屋城／美術館

●立地と活動の特徴

- ① 目貫通りではない「界隈地区」
- ② コロナ禍の中での様々なチャレンジ
- ③ 地域の人と外の人、多様な連携をつくっている
- ④ 民間主導
- ⑤ 道路の使いこなしにチャレンジしている
- ⑥ ビジネス中心の複合地区→都心の職住融合地区へ
- ⑦ まちでの社会実験をビジネスにつなぐことに注力している

3

2. 課題の背景と活動

まち課題背景 / 活動

戦後の繊維問屋街としての発展

バブル崩壊により産業不況により、街を去る会社・人の増加

- 2000 年名古屋商工物産協同組合 50 周年記念行事（記念祭、シャッター
- 2001 年 50 周年記念祭以降、「まびす祭」として毎年秋に開催

空きビル、空き土地の増加、安全性の危機

- 2002 年「エビスビル Part1」オープン（問屋ビルを商業ビルへコンバージョン
- 2003 年「エビスビル Part2」オープン / 2005 年「エビスビル Part3
- 2006 年「Nagoya ID Lab 1」開設（伏見長者町ベンチャータウン構想）
- 2007 年「Nagoya ID Lab 2」開設 / 2008 年「Nagoya ID Lab 3」開設

まちづくり（賑わい）事業の実施

- 2004 年錦二丁目まちづくり連絡協議会 発足
- 2005 年「まちなかのデザイン」が開始
- 2006 年「錦二丁目まちづくり集まる」の策定
- 2008 年タウンセンター「まちなかの会所」オープン（5 月）
- 錦二丁目マスタープラン作成委員会発足（5 月）
- 名古屋長者町まちなか Web 開設
- 2010 年 あいちトリエンナーレの会場となる
- 2011 年 錦二丁目マスタープランの地域合意（4 月）
- 2015 年 信濃赤十字ビル地区認定（名古屋市 / 2 月）
- 2017 年 地域まちづくりマネジメント地区認定（名古屋市 / 6 月）

今後のまちづくりの推進する者の不在

- まちづくり協議会のボランティア有志による賑わい活性事業の推進の停滞
- 組合からの組合員の増加、町会の会長職の担い手の不足

7 街区再開発事業の始動（2021 年 住民の急増への対応の必要性）

- 再開発事業におけるエリアマネジメント拠点整備が地域貢献として都市計画決定の認定要件となる（2017 年 2 月）

錦二丁目エリアマネジメント株式会社設立

2000～
祭り

2002～
エリア
リノベーション

2004～
学びの場
構想づくり
うごきづくり

2018～
再開発&エリア
マネジメント

2020～
未来ビジョン
と
社会実験



4

3. 学びの場「まちのデザイン塾」と意向把握アンケートからはじまりました

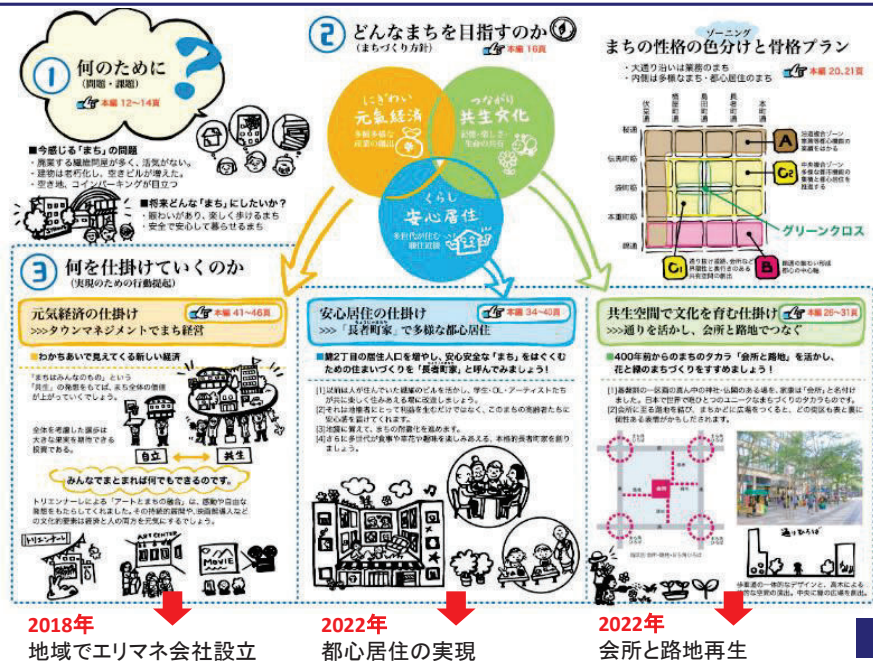


5. 「錦二丁目まちづくり構想」としてまとめ、これを羅針盤に活動してきた



ワークショップや会議、
学習会、100回以上重ね
てつくった構想

2011年～2030年
の計画



6. 構想があって実現してきた多様なアクション

\\ 構想づくりだけでなく
同時に活動を起こしながら！ //



都市の木質化



歩道拡幅
社会実験



公共空間活用と管理

7

事業内容①エリアマネジメント拠点「喫茶/スペース七番」運営



広場（会所）空間



まちづくり構想が官民連携の再開はで実現した「会所」空間
地域運営によって生き生き使いこなす！



スペース七番



喫茶七番



8

事業内容②地域事業創出のための「N2/LAB」企画・運営



事業内容③公共空間の整備利活用事業



変化の最中でもできることから！

どんなまちにしたいかを見通しながら使いこなす～トライ&エラーから カタチづくり・シクミづくりへ

公共空間の使いこなしなど、社会実験・アクションから得る知見や推進力が大事



企業の協力でテラス席による
道路交通の影響を調査 →



『どんな場をめざしたい？』



気軽に寄れる居場所
人と人をつなぐこと

公と私の間にあるもの

「個」の課題を「社会化」
できるところ

心が晴れる 防災拠点
場所 文化のあるところ

ひとりで居ても気持ちの
よいところ

ふるさとを 多様な価値観を認め合えること

歌うところ コミュニティ・デザイン 多世代が
飲んで、食べて、歌って、 つどう場
笑うことができるまち

自分が楽しいことをしていたら、 子育ての場
地域問題解決の端緒にいた、というつながりがみえること